

ホース号

第272号
発行日：令和８年９月
発行者：医療法人　博愛会
福田脳神経外科病院　新聞部

診察室から　しびれ

院長　福田　雄高

しびれを主訴に来院される方は多いです。しびれとは、「ジンジン」「チクチク」「ピリピリ」と表現され、感覚が部分的または完全に消失した状態をいいます。顔や首、腰、腕、足、手指や手といった身体の一部であったり、右半身、左半身など半身に生じることもあります。脳、脊髄、末梢神経など障害される場所によって症状の出方はさまざまです。しびれは、感覚の経路（感覚受容器・皮膚の表面～末梢神経～脊髄～大脳）のいずれかに障害がおきると出現します。

脳梗塞や脳出血などによるしびれは、急に出現し、片側の症状であることが多いです。筋力低下を伴うことが多いも、しびれが唯一の症状であることもあります。口の周りと片側の手がしびれる場合などもあります。

脊椎に異常があって、首（頚椎）や腰（腰椎）の神経を圧迫することによって生じるしびれは、慢性的なしびれで最も多い原因の一つです。発症の日時が不明であったり、症状の変動があったり、ある一定の領域に限局してしびれを認めます。

また、手足の末梢神経の障害によるしびれもよく遭遇します。例えば、人差し指から中指のしびれで発症することが多い手根管症候群は、手首に負担がかかる生活をしている人、妊娠、糖尿病、更年期などホルモンの変化や代謝性疾患がある人に起こりやすいです。更に代謝・栄養の異常（糖尿病、ビタミン欠乏、アルコール多飲など）や、薬剤の副作用などによってもしびれが生じます。

しびれが気になった際は、特に急に発症し、片側の症状の際は早めに受診頂ければと考えます。そうでなくてもしびれが慢性化するとなかなか治りづらいこともあります。心配な際は気軽に受診頂ければ幸いです。



"A lo hecho, pecho." 「すんだことには胸を張れ」すんだことは仕方がない。自分のやったことは胸を張って対処するしかない。

勉 強 会

★ オムツ研修 ～ 褥瘡予防対策委員会 ～



委員長　M・M

目　的

新人および研修参加スタッフがオムツの正しい基本知識と技術を習得することを目的に、当院で採用しているオムツメーカーであるユニ・チャームの専門講師より研修を実施しました。

研修内容

①ユニ・チャームの座学(オムツの特徴と選び方)

②人形を使用したオムツの当て方と実技講習

※オムツを正しく装着した場合とズレた場合で吸水の違いを目で見て学びました

③陰部洗浄のポイント

研修結果

スタッフが意見や質問しやすいように今回は少人数参加で研修を行いました。参加スタッフからは「印象的で分かりやすかった」「次回も参加したい」と高評価を頂きました。





★ 呼吸器勉強会～参加者の感想～



看護師　M・Y



人工呼吸器の勉強会に参加して、複雑だと思っていた換気モードの仕組みや、回路の組み立て方、アラーム対応の基本が勉強会を通じて明確になりました。日頃から具体的なイメージトレーニングを行っておくことで実際使用する時に慌てず対応できるのだと感じました。

給食室より ～ 嗜好調査を行いました ～

管理栄養士　N・A

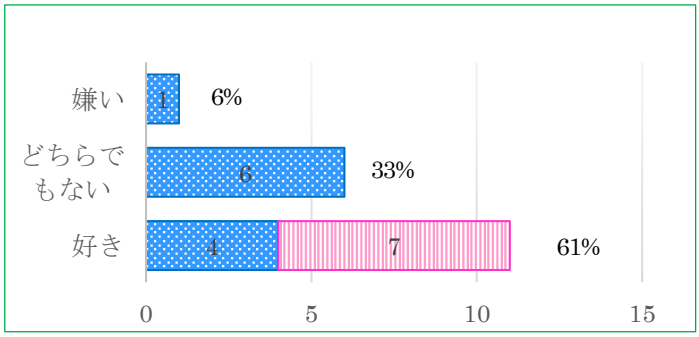
当院の食事は治療の一環として行われています。治療という一面と食欲をもたらし体力の増加につながっていくようにと考えています。今回は、献立に導入を検討している「汁気がない麺料理」についてアンケート形式で嗜好調査を行いました。



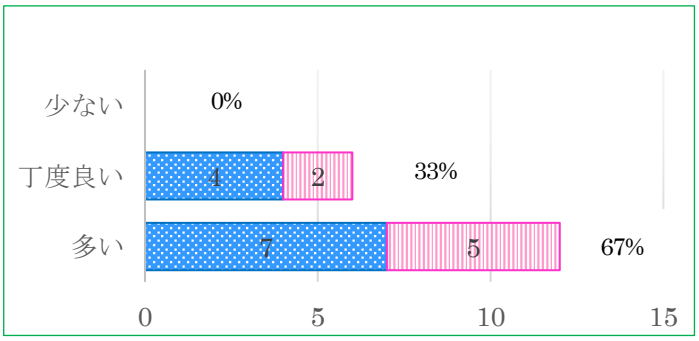
＜実施日＞　令和 8 年 8 月 25 日（火）
＜対象者＞　入院患者　18 名（男性 11 名、女性 7 名）
＜方　法＞　アンケートによる調査
＜献　立＞　ご飯（半量）　焼きそば　麻婆茄子　卵スープ　コーヒーゼリー

＜結　果＞　　男性　女性

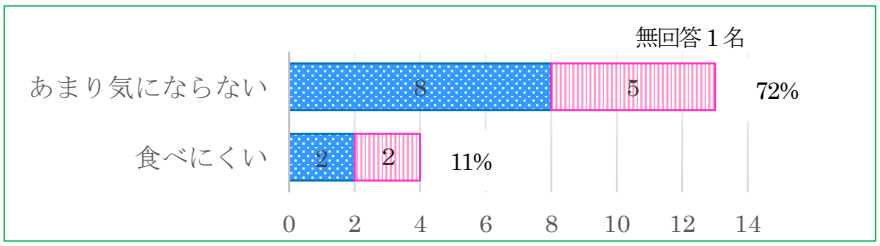
（1）汁気が無い麺料理は好きですか？



（2）焼きそばの量はどうですか？

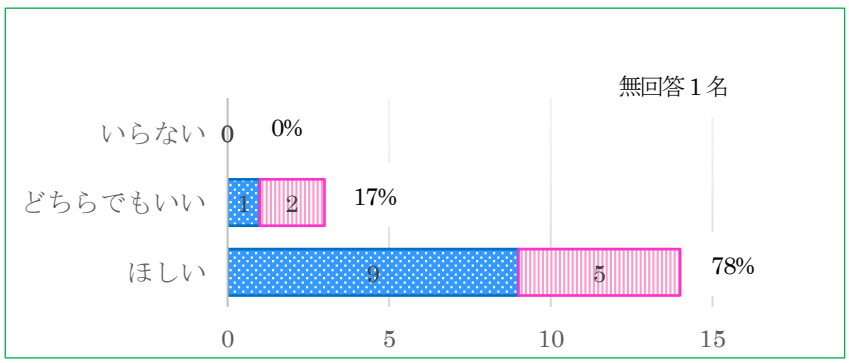


(3) 焼きそばは食べにくいですか？



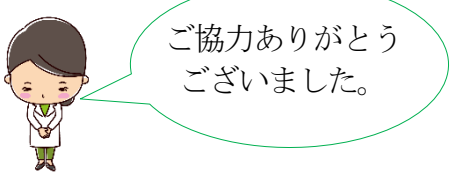
（理由）
- 麺が太くて重い
- 少し汁気ほしい
- 量が多すぎてのどにつかえる
- 焼きそばが好みじゃない

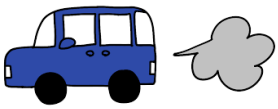
(4) 汁気が無い麺料理に汁物はほしいですか？



約７割の方が「あまり気にならない」との回答だったため、約７割が量が多いとの回答を考慮し、メニューに反映させたいと思います。

(5) 食事について、ご意見・ご感想がありましたらお書き下さい。
- 汁は常にほしい
- 毎回色々な麺を考えてくださりありがとうございます。
- 料理に工夫されてうれしいです。
- いつも美味しくいただいています。
- なすびだけは食べれません。





院長の出張講座

7/24
北川副地区





7/25
日新地区









どの地区もたくさんの方に参加いただきました。
皆さん、熱心にお話を聞かれていました。





災害支援ナース



令和８年熊本地震災害支援ナース活動に参加して

看護師　Ｍ・Ｙ

８月 12～15 日の４日間、災害支援ナースとして派遣要請を受け被災地での災害支援に参加しました。

震災から半月ほどが経った被災地でしたが建物の損壊やお店の休業など震災の影響はまだ色濃く残っていました。私が派遣された避難所には 60 名以上の方が避難されており、避難者の健康状態の観察や避難所の衛生状況の確認、全国から派遣されている多職種との連携などの活動を行いました。

今回の活動で４日間被災者の方々の生活を支援させていただきましたが、現状の深刻さを目の当たりにし、まだまだ多方面からの支援が必要だと感じました。

また個人的なことにはなりますが、今回の派遣期間中３人の子どもたちをみてくれていた妻に感謝したいと思います。

